

## ⑨京葉道路付加車線整備事業 (船橋IC～武石IC、千葉東JCT付近)

受賞機関 東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所  
東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所

**キーワード** 既存用地幅内、情報提供の充実、交通容量の増加効果

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

早期に渋滞回数の減少や定時性の向上などを図るため、既存幅員を最大限活用した付加車線の設置事業。道路の立地条件により、新たな用地取得の場合相当の事業期間が必要となるが、現用地幅内で迅速な渋滞対策を実施した点や、工事中も渋滞が発生しないように実施した点が評価された。

### 1. はじめに

京葉道路は東関東自動車道と並行し、東京と千葉中心部を結ぶ大動脈であり、国道14号・16号のバイパスとして整備した一般有料道路である。

東京方面（首都高との接続付近・篠崎出入口）から船橋TB間は片側3車線、船橋TB～千葉東JCT間は、片側2車線の自動車専用道路である。

当該区間の船橋TB～武石IC間は1日約10万台、千葉東JCT付近は約9万台の車両の往来があり、特に船橋IC～武石IC間（上り線）、千葉東JCT付近では、慢性的な渋滞が発生していた。今回お客さまの快適走行性、利便性向上、更なる交通安全を確保するため、付加車線を設置する事業を実施し、両区間とも令和2年8月4日に運用を開始した。

### 2. 事業の概要

京葉道路は、高層集合住宅などが近接し、民家等が集積した地区を通過しており、用地を新規に取得し車線を増やす工事を行う場合、事業期間を要することから、新規に用地買収することなく現在の京葉道路の用地幅内で、交通容量を増やす方針とした。



京葉道路 上り 武石～幕張間 付近付加車線設置状況

また、工事中の規制により渋滞が発生しないように上下2車線を常に確保する工事計画とした。

既存用地幅内での付加車線設置に伴い路肩狭小区間が長くなることから、情報提供の充実等により安全対策、走行支援を行うとともに、ペースメーカーライトにより視覚効果を利用し、速度低下を抑制させ、渋滞中の速やかな速度回復を促し、渋滞緩和、渋滞発生への抑制に繋がる対策を実施した。

### 3. 事業の成果

今回付加車線を設置することで車線利用率の均等化を図ることにより交通容量の増加効果が得られた。船橋TB～武石IC間の本線渋滞は、ほぼ解消された。

千葉東JCT付近においては、付加車線を設置したことにより渋滞が軽減した。



千葉東JCT付近における付加車線設置後の車両走行状況

### 4. おわりに

慢性的な渋滞を解消するため総整備延長約8kmにおよぶ付加車線整備事業は、当該道路をご利用いただくお客さまのご理解を得ることはもとより、周辺住民の方のご理解・ご協力を得ながら事業を進めることができた。最後に当該事業に協力頂いた関係各所の皆様方に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

賛助会員 大林道路(株)、鉄建建設(株)、八千代エンジニアリング(株)、  
㈱建設技術研究所、㈱建設環境研究所、㈱千代田コンサルタント、  
㈱オリエンタルコンサルタンツ